

東ティモール国からの防災事業関係者をお招きして

～JICA招へい事業「洪水リスク削減能力向上プロジェクト」～

独立行政法人 国際協力機構（JICA）が実施するプログラムの一環として、東ティモール国公共事業省より、公共事業大臣を含む8名の職員が、日本の砂防事業の考え方・維持管理について理解を深めるため、六甲砂防事務所を来訪されました。

講義では【六甲山系での過去の土砂災害と砂防事業の取り組み】について説明を行い、現地視察では、【住吉川】と透過型堰堤である【荒神山西堰堤（令和5年3月竣工）】を案内し、土石流や砂防堰堤の設計などについて学んでいただきました。

概要

日時：令和8年1月16日（金）9：30～13：00

場所：講義＞六甲砂防事務所／現地視察＞住吉川（神戸市東灘区住吉東町）、荒神山西堰堤（神戸市東灘区住吉山手地区）

主催：独立行政法人 国際協力機構（JICA）

参加者数：8名



講義の様子



質疑応答の様子



記念撮影

【研修員との質疑応答】

Q：東ティモールも都市部と山地が近接しており六甲山系と非常に似ている。土砂・洪水氾濫に悩まされており六甲砂防の取り組みは大変参考になる。日本のようにコンクリート砂防堰堤を建設するのは難しいが他に手立てはないか？

A：簡易で若干安価な方法としてはブロックや蛇籠を積む方法などがあります。

Q：砂防堰堤に溜まった土砂は撤去しない場合もあるのか？

A：残す場合もあります。急勾配地形であるため、溜まった土砂を水平に保つことで、土砂の流れを緩くすることが狙いです。



住吉川視察の様子



荒神山西堰堤視察の様子

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>